

## 2021 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2021年10月20日
- 事業名 : こどもホスピス運営事業
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会
- 実行団体 : 特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

### ① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-①-A: 癒しの環境を提供する	・「うみとそらのおうち」利用者延べ人数	・利用者数 300人	2024年3月	0人 ・11月に開所予定であるため想定通り	2
1-①-A: 癒しの環境を提供する	・環境づくりのワークショップ回数	・ワークショップ回数 3回	2024年3月	0回 ・11月に開所予定であるため想定通り。壁画ワークショップを11/7に開催予定	2
1-①-A: 癒しの環境を提供する	・利用者の声	・環境に対する肯定的な反応	2024年3月	なし ・11月に開所予定であるため想定通り	2
1-①-B: 地域社会とのつながり	・ボランティア登録者数	・年間登録者数の増加	2024年3月	43人	2

を感じられる環境を提供する			月	・9/22 にボランティア説明会を開催し、227 名が説明会に参加、9/30 時点で43 人がボランティア登録済み。ボランティア規約を整備	
1-①-B：地域社会とのつながりを感じられる環境を提供する	・地域交流カフェ	・地域交流カフェ月1回	2024年3月	0回 ・11月に開所予定であるため想定通り	2
1-②-A：LTC の子どもと家族のニーズを把握する	・アセスメントツールの使用人数	・アセスメント使用人数 50人	2024年3月	0人 ・11月に開所予定であるため想定通り。外部アドバイザーとアセスメント項目を確認し、12月のパイロットテストを目指してツールを開発中	2
1-②-B：ニーズに応じたケア提供を家族と共有しながら行う（直接ケア・相談・調整）	・ケア提供（直接ケア/相談/調整など）の回数	・ケア提供回数 300回	2024年3月	0回 ・11月に開所予定であるため想定通り。各種マニュアルや規約を準備中	2
1-②-B：ニーズに応じたケア提供を家族と共有しながら行う	・アセスメントに基づいて、利用者のニーズを検討した	・各利用者に1回以上はアセスメントおよびニーズを検討	2024年3月	0回 ・11月に開所予定であ	2

(直接ケア・相談・調整)	カンファレンスの回数	するカンファレンスを開催する		るため想定通り	
2-①-A：現状を把握するための調査・分析を行う（地域診断を行う）	・ステークホルダーによる地域の課題の見解（課題の認識の有無・述べられた課題の内容）	・地域の課題が抽出できる ・地域診断の結果を報告書にまとめる	・2024年3月	小児緩和ケアネットワークコアメンバー会議より、地域の小児緩和ケアの課題として下記「LTCの子ども的人数は少ない上に、稀な疾患が多く、病態が多様で複雑なニーズを有するため、経験が蓄積されにくい」「小児緩和ケアを提供できる専門家（人材）が不足しており、LTCの子どもにかかわる医療者の個人の技量がケアの質に大きく影響している現状がある」「医療機関ごとで完結しており、施設をこえて協力し合う文化がない」	2
2-①-B：現状を地域コミュニティと共有する	・ワークショップの開催回数	・4回/年	・2024年3月	1回（小児緩和ケアネットワークカンファレンス）	2

				ス：9月) ・小児緩和ケアネットワークカンファレンスのワークショップを9月より年間予定をもって開催し計画通りに進んでいる	
2-①-B：現状を地域コミュニティと共有する	・ワークショップの参加者数	・参加者数の増加	・2024年3月	57名（小児緩和ケアネットワークカンファレンス：9月） ・初回であるため増減は判断できない	2
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・リーフレットの種類	・新たに3種類作成	・2024年3月	1種類（利用案内）を作成中 ・計画通りに着手できている	2
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・動画作成本数	・新たに3本作成	・2024年3月	1本（開所までの軌跡）を作成中 ・計画通りに着手できている	2
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・施設見学（内覧会含む）の開催回数	・1回/月	・2024年3月	0回 ・11月に開所予定であるため想定通り	2
2-②-B：地域リソースの情報が	・関係機関からの紹介件数	・関連機関からの紹介件数が	・2024年	0件	2

集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る		増加する	3月	・11月に開所予定であるため想定通り	
2-②-B:地域リソースの情報が集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る	・地域ネットワークに関する話し合いの数	・1回/月	・2024年 3月	3回 ・小児緩和ケアネットワークコアメンバー会議を7月より1回/月に開催し計画通りに進んでいる	2
2-②-B:地域リソースの情報が集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る	・地域リソースとの協働によるワークショップの開催	・2回/年	・2024年 3月	1回 ・地域の大学病院と小児専門病院と協力して小児緩和ケアネットワークカンファレンス(9月)を開催し計画通りに進んでいる	2

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・オンラインを活用してできるだけ対面や参集型での活動を避けるように留意した

## ③ 広報（※任意）

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等